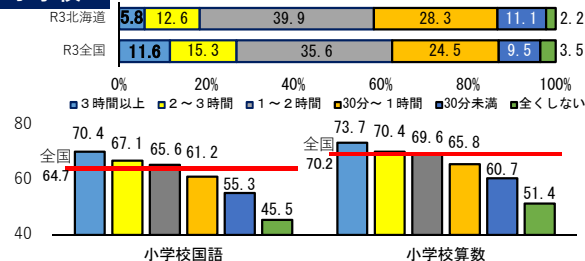


(4)望ましい学習習慣の確立

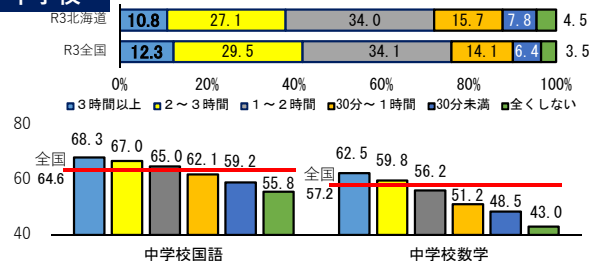
〔分析〕

「学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか（学習塾で勉強している時間や家庭教師に教わっている時間、インターネットを活用して学ぶ時間も含む）」（児童生徒質問紙）

小学校

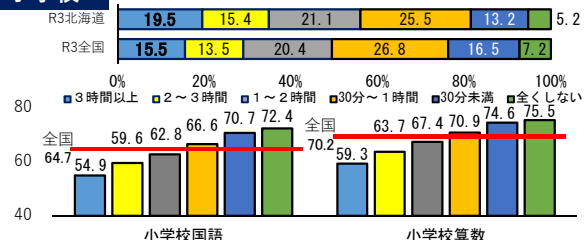


中学校

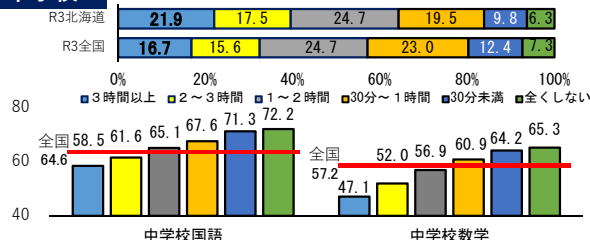


「普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、テレビゲーム（コンピュータゲーム、携帯電話やスマートフォンを使ったゲームも含む）をしますか」（児童生徒質問紙）

小学校

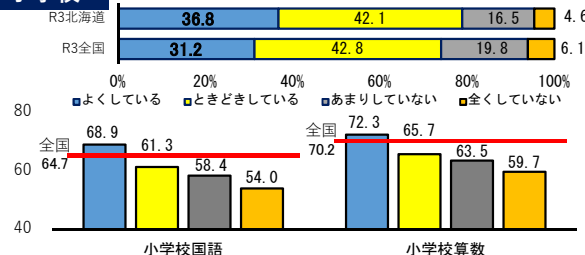


中学校

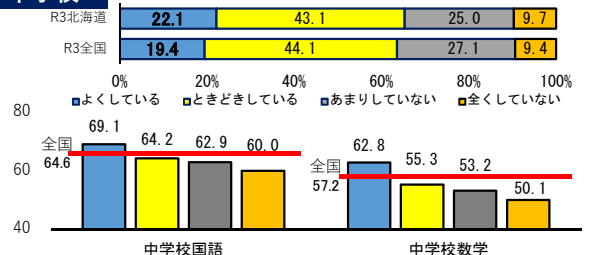


「家で自分で計画を立てて勉強をしていますか（学校の授業の予習や復習を含む）」（児童生徒質問紙）

小学校



中学校



〔分析から明らかになったこと〕

- 家庭での学習習慣に関する項目について、次のように回答した児童生徒の方が、平均正答率が高い。
 - ・ 1日当たりの学習時間が長い
 - ・ 1日当たりテレビゲームをする時間が短い
 - ・ 家で自分で計画を立てて勉強をしている
- 本道の児童生徒は、全国に比べて1日の学習時間が短く、テレビゲームをする時間が長い傾向が見られる。

〔望ましい学習習慣の確立に向けて〕

- **望ましい学習習慣、生活習慣の確立に向けた学校と家庭・地域との連携**
 - ・ 児童生徒が、自ら計画を立てて学習し、規則正しい生活を送ることのできる環境づくりに向けた家庭や地域との協力体制の確立が大切です。
 - ・ 児童生徒の発達の段階に応じた家庭学習の在り方について学校全体で共通理解を図り、一貫した指導を徹底・継続することが大切です。

美唄市立中央小学校・美唄市立美唄中学校

- 義務教育 9 年間を見通した「家庭学習の手引き」の改善
- 家庭学習のねらいや内容について共通理解
- 主体的な家庭学習を促す手立ての工夫

義務教育 9 年間を見通した「家庭学習の手引き」の改善

- ・ 中学校も含めた学年間の系統性を意識し、学年ブロックごとに、既存の手引きを改善
- ・ 子どもの望ましい学習習慣の確立に向け、手引きを保護者にも配付し、家庭と連携

中学校のリーダーシップで小・中学校9年間の系統性を意識し、発達の段階に応じた家庭での学習時間、学習方法、めあて等を具体的に示しています。

- ・家庭学習に取り組ませる意義や目的を、全教職員で共有
- ・手引きを活用した具体的な指導について、校内研修を活用し、共通理解

「教科書の内容を中心に課題を出す」、「テストの間違った問題に取り組ませる」など、具体的な指導について、校内研修を活用し、共通理解を図っています。

- ・子ども自身が、自らの学習状況を把握し、計画を立て学習に取り組める環境の整備
- ・小中合同で実施する家庭学習強化週間の設定

「家庭学習の記録」を準備し、子どもたちが学習した時間を視覚で把握できるよう10分単位で色を付けていくことにより、主体的に家庭学習に取り組む姿が見られてきました。また、小学校第6学年にも配付したことにより、小中接続にもつながりました。

- 子どもが家庭学習に取り組む時間が増え、特に高学年では、「1日当たり1時間未満」の割合が、15ポイント減少した。
- 子どもの望ましい学習習慣の確立に向けて、小・中学校の教職員が連携した取組を進めたことで、9年間を見通した学習指導に対する教職員の意識が高まった。

取組のポイント

- 小・中9年間を見通した「家庭学習の手引き」の作成
- 主体的な家庭学習を促す手立ての工夫
- 教科の枠を越えてそろえる指導

実践の概要

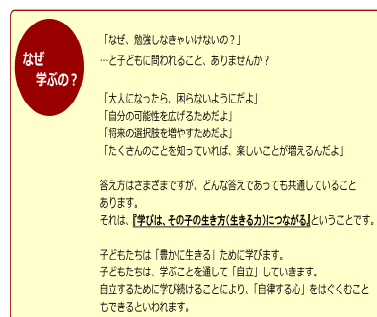
小・中9年間を見通した「家庭学習の手引き」の作成



- ・小中一貫教育の一環として、小・中9年間を見通した「家庭学習の手引き」の作成
- ・合同研修会等をととして、小・中学校の全教職員で共有

小学校第1学年～第4学年を「形成期」、小学校第5学年～中学校第1学年を「充実期」、中学校第2学年～第3学年を「成熟期」と設定し、発達の段階に応じた家庭学習の取組について、示しています。

主体的な家庭学習を促す手立ての工夫



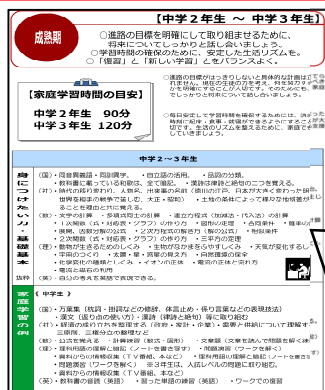
学ぶ意義(学習内容) と 家庭学習



- ・学ぶ意義や目的を、子ども目線で解説
- ・キャリア教育と家庭学習の指導をつなげる取組

教科の専門性を生かし、各教科の学習を通して、どのような資質・能力を身に付けるのかを解説しています。

教科の枠を越えてそろえる指導



中学2～3年生

(国)・同音異義語・同訓異字。・自立語の活用。・品詞の分類。

・教科書に載っている訓読は、全て全記。・漢語は単語と単語の二つを覚える。

(社) 時代の移り変わり、人物名、出来事の名前 (徳川の江戸、日本が大きく変わった明治、
時代を相手の敬称でさしお、大正・昭和) ・土地の条件によって様々な地域差が生じる
ことを理由と共に覚える。

(数) 文字数 (式・対称式・グラフ) ・連立方程式 (加減法・代入法) の計算
・1次方程式 (式・対称式・グラフ) の作り方 ・図形の性質、合同条件 ・確率の計算
・展開、因数分解の式 ・2次方程式の解き方 (解の公式) ・相似条件
・2次関数 (式・対称式・グラフ) の作り方 ・三平方の定理

(理) ・動物が生きているためしくみ ・生物がなかまをふやすしくみ ・天気が変化するときしくみ
・宇宙のつくり ・太陽、星、惑星の見え方 ・自然現象の保全
・化学変化の種類しくみ ・イオンの正体 ・電流の正体と流れ方
・電流と磁石の利用

(英) ①自分の考えを英語で表現できる。



- ・全ての教科で「身に付けたい力・基礎基本」とそれを身に付けるための「家庭学習の例」に分けて記載

教科別に具体的な単元名を示し、
家庭学習と日常の授業の関連を
図っています。

取組の成果

- 家庭学習に意欲的に取り組む子どもが増えるとともに、自らの学習を調整し、計画的に家庭学習を進めることができるようになった。
- 「家庭学習の手引き」を活用し、家庭学習の指導について教科間連携を図ったことで、全教職員が共通の意識で指導に当たることができるようになった。